

DAIDO CAMPUS

大同工大キャンパス

No.48 2004.4

巻頭特集／マスコミも注目した新しい授業
産官学のコラボレーション授業「学生による街づくり提案」!

大同工大の卒研は面白い! 工学研究の醍醐味に触れる!

学生の活躍 名岐駅伝、ベンチャービジネスグランプリ、アメリカ留学など

学位授与式挙行 学長賞、三好賞受賞者紹介

元気印の卒業生④ アイシン辰栄(株)清水 保充氏

大同工大のグルメスポット④ 活魚料理 「おゝみ」

トコトン先生、トコトン奮闘／入学式挙行!

新任の先生方、一挙公開／就職トピックス

開かれた大学／巻末トピックス



入学式を終えた新入生たち

産・官・学が成し遂げたコラボレーション授業 『学生による街づくり提案』が好評博す！

建築学科「建築設計Ⅳ」（担当：笠嶋 泰 教授）



南区に実在する工場を、 「街と共生する工場」へリニューアル提案

建築学科笠嶋 泰教授の「建築設計Ⅳ」の授業では、南区役所まちづくり推進部地域振興課と共同で、南区に実在する4社にも協力してもらって、その4社の工場をモデルに、街と共生するのに相応しい工場の佇まいを学生たちが企画・立案して模型やパネルを製作した。

対象対象となった工場は、東海高熱工業名古屋工場、生方製作所、友信工業、三貴工業所の4社の工場。それぞれの工場に建築学科3年生の受講者20人が分かれて、昨年秋から1ヵ月半かけて、街と共生する工場の佇まい提案を、スケッチと模型で表現した。

1月9日、白水校舎で提案発表会、 中日新聞が取材

この発表会には、共催の南区役所、名古屋市経済局、そして対象企業4社のうち3社の担当者も参加し、学生たちの提案に見入った。ある企業関係者は、「経費的にはともかく、我々では考えられない大胆な提案をいただき、それだけでも来た甲斐がありました」と感想を述べられた。

この発表会には中日新聞社・永井記者が取材に訪れ、笠嶋先生と学生たち、南区の光田主幹、東海高熱工業、生方製作所などの企業担当者から熱心に話を聞いていた。この発表会の模様は、1月20日火曜日朝刊の「学生乃新聞」のページに掲載された。



東海高熱工業 株式会社



02BM 加藤雄一君の作品



友信工業 株式会社



01A 佐々木健君の作品



株式会社 生方製作所



01A 田畑雅行君の作品



株式会社 三貴工業所



01A 樋口幸代さんの作品



他の新聞社も続々取材に

このニュースは他の新聞社からも注目され、読売新聞（2月25日）、日刊工業新聞（3月2日）でも相次いで紹介された。中日新聞・永井記者、読売新聞の中村記者、日刊工業新聞の鈴木記者とも、新しい大学の授業のあり方で、学生たちには魅力ある授業になるし、社会からも注目されると感想を述べていた。



「街づくり提案」作品は、南区役所主催「南区魅力体感フェスティバル」でも展示

学生たちが制作した「街づくり提案」の模型とパネルは、3月13日に南区役所が開催した「南区魅力体感フェスティバル」でも展示され、見学者は住宅や街と共生する次世代工場の佇まいを提案する模型と図面に見入っていた。この日の展示会の模様は、毎日新聞（3月22日）でも報道された。

「南区魅力体感フェスティバル」には、大同工大から「サッカーロボット」も参加 情報機械システム工学科 西堀研究室

この「南区魅力体験フェスティバル」には、学生の「街づくり提案」の展示に加え、情報機械システム工学科、西堀賢司教授研究室も、「サッカーロボットのデモンストレーション」で参加した。

360度全方位を認識できるロボットが、サッカーボールを認識しボールを捉え自動的にドリブルする様子に、見学者も拍手を送っていた。



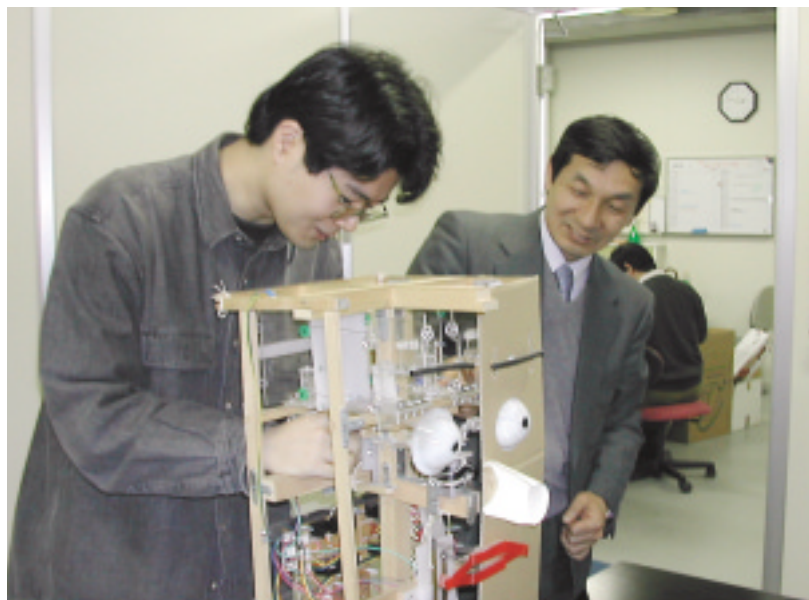
情報機械システム工学科 西堀 賢司 教授 研究室



ロボカップ大会に向けて準備作業急ピッチ!

DITでロボットといえば西堀研究室。その西堀研究室が今取り組んでいるのが、今年5月大阪で開催されるロボカップ大会で勝つこと。本物のサッカーボールを使ってロボットたちがサッカーの試合をする。サッカーロボットには、敵のロボットやボールを感知する「目」と、ボールをゴールへ運ぶ動きなどを「5人のロボットサッカー選手」にプログラムする必要がある。

今年の卒研究生は、ロボットの脚を設計・制御する担当と、「目」にあたるカメラの画像処理を担当する二人。「半田市に住んでいた関係で『からくり人形』に興味がありました。動きを解析・設計することは面白い」、「小さいころから数学が好きで、高校の数学の先生になりたかった。工学系で数学の教員免許が取れるDITにきました。ロボットは最先端です」がそれぞれのやりがい。「自分で一から図面を書き、PCをセレクトシソフトを使ってロボットをつくる。でもそれでは動かない。それを改良して動いたときのうれしさは最高です」という。「ロボカップ頑張ります!」と決意を語ってくれた。



『携帯電話で次にできること』に挑戦中!



情報学科 国立 勉 教授 研究室

国立研究室のテーマを一言でいうと、「プログラムにより、コンピュータを便利に使いこなすこと」となる。コンピュータはあらゆる分野で使われており、そのプログラムも多種多様。例えば、携帯電話でもJava言語でプログラムを作り、それを動かすことができる。

携帯電話のプログラムにはゲームだけでなく、ビジネス用途のもの（営業マンの営業情報登録など）も多い。その開発はPC上で行う。動作確認（シミュレーション）もPC上でできる。画面上の鍵盤をみながら音符の情報をボタンで入力すれば携帯電話で作曲するプログラムだってできる。

「パソコンには興味はなかったけど、ものづくりが好きで、友人がパソコンを作っているのを見てやりたくなった」、「もともとパソコンや機械が好きだった。DITでパソコンが思い切り触れてよかった」、「高校時代は美術が好きだったが、パソコンに触れて損はなかろうとDITにきてみてよかった」、「DITは基本を徹底的に教えてくれるし、考えさせられるので実力がつく」などが卒研生の感想。「プログラムは人に伝えるという気概が不可欠です。将来はシステムエンジニアに」と高い目標を持っていた。



2004年名岐駅伝、堂々17位（大学2位）。 来年度のシード権獲得！

中日新聞社主催、2004年名岐駅伝競走大会・一般の部は、大垣城ホールをスタート、名古屋市・中日新聞本社前をゴールとする6区間、53キロのコースで行われ、DIT陸上部は大健闘、17位（大学では2位）に入り、来年度のシード権を獲得した。

1区、各チームのエースが集う12.4キロでは、DITのエース、大和立幸選手（01J）が15位の好位置でレースを作る。2区、伸び盛りの道家崇文選手（03J）と、3区、粘りの走りを見せる奥野拓選手（02C）が好位置をキープ。準エース区間の4区9.8キロでは、片桐雅樹選手（01E）が順位をひとつ上げ14位へ。5区の宇野彰紘選手（01M）が快走してさらに13位へと引き上げ、アンカー猿渡新悟選手（03B）へ。そこは1年生、健闘するも力及ばず最終的には17位でゴールした。

しかし何よりも、途中で繰上げスタートとならず、大学名入りのタスキを最後まで繋ぎきったことは賞賛される。トヨタ自動車、アラコといった元日のニューイヤー駅伝常連の実業団チームに混じって、繰上げスタートにならなかったのは、大学では名大とDITだけ。中京大、愛工大を破り大学では2位に入ったことも大きな成果である。

また名岐駅伝では、教養部水野先生をサポート統括リーダーに、職員有志が車を出して選手を各区に送ったり、走った後の選手を乗せてゴールまで送り届けたり、縦横無尽のサポート振り。選手の健闘とスタッフの尽力に「DIT愛」が高揚した大会だった。



1区大和選手から2区道家選手へタスキリレー



陸上部員とサポーターの教職員



受賞者の列に並んで…

第1回キャンパスベンチャーグランプリCHUBUで 山北育実さん、見事奨励賞受賞！

中部地域の学生による新事業の提案コンペ、「第1回キャンパスベンチャーグランプリCHUBU」（同実行委員会と日刊工業新聞社共催、トヨタ自動車はじめ中部優良企業13社共催）で、山北育実さん（03MM）が、見事奨励賞を受賞した。表彰式は2月13日、名古屋のマリオットアソシアホテルで行われ、山北さんは16人の受賞者とともに表彰された。

山北さんは、ニュービジネス・その他部門に「情報社会での販売方法～バーチャルモデルの提案」と題して応募。インターネット販売が当たり前になったとはいえ、消費者の想像と現実とのギャップからさまざまな問題が生じている。それらの問題を軽減するために、消費者自身をバーチャルモデルとする販売シミュレーションを考案した。自分の写真をパソコンに取り込み、その像に買いたい衣服を試着させるプログラムを作ることで、納得して買い物ができるバーチャル販売システムを提案した。

表彰式後の懇親会で山北さんは、中部経済産業局長、中部経済連合会会長はじめ、中部経済界、産業界のそうそうたる方々と物怖じすることなく親しく懇談していた。



栄光の時！



受賞後のパーティで。前列左から二人目



学長に受賞を報告

アメリカ留学の抱負を語る

オレゴン大AEIに半年間留学が決まった江口陽子さん(01C)

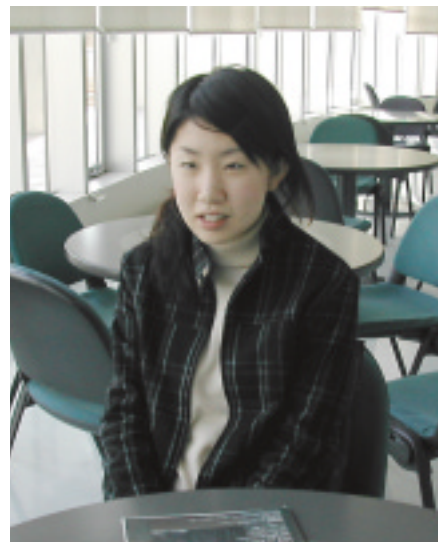
一見は「はにかみ屋」さん。でも英語について質問すると、表情が一変。江口さんにアメリカ・オレゴン大学への半年間留学に目が輝いた。

「若いときから英語を使った職業、それも都市づくりの仕事をしたと思っていました」と語る。

聞けば、中学校のときから学校以外で英語を習っていたとのこと。DITが授業料を負担するアメリカ留学に行くことが決まって「うれしい」と笑顔がこぼれた。「応援していただいた堀内先生と木全先生、それに行かせてくれた両親に感謝しています」という言葉から、その成果には期待できそうだ。

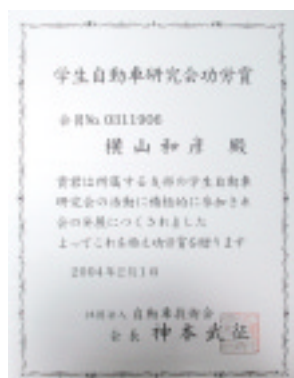


江口さんを待つオレゴン大学



発表会の司会を務める

01J横山和彦君(自動車部) 学生自動車研究会功労賞受賞



3月5日、01J横山和彦君(自動車部)が、(社)自動車技術会から、学生自動車研究会功労賞を受賞した。学生自動車研究会に積極的に参加し、同研究会の中部支部学生委員長を務めた功績が評価されたもの。

この受賞の対象となった(社)自動車技術会中部支部学生自動車研究会の2003年度発表会は1月31日大同工大で開催された。横山君は、発表会の司会の大役をこなすとともに、「2003DITダートトライアル結果報告」と題した発表に尽力した。

DITダートトライアルは、毎年大同工大自動車部主催のダートコースを走る競技会で、中部大学選手権も兼ねた大会。毎年各大学から15～20台が参加して、タイムを競う大会。

受賞の感想を尋ねてみると、「そんなに大変でもなかった」と軽やかにわかった。今年4年生だが、大学院に進学して自動車の研究を重ね、将来は自動車の設計系へ進みたいという大きな抱負を持っていた。



平成15年度 学位記授与式挙行!

学部生664名・大学院生50名・委託生1名巣立つ

3月19日、ぬけるような青空が広がった日、平成15年度学位記授与式が厳粛に挙行され、大同工業大学を巣立つ学生、院生、委託生たちの華やかな顔が春の日差しに映えた。

学長告辞(概略)

澤岡学長はまず、学部卒業生、大学院修了生、委託修了生へのお祝いのご父母へのねぎらい、後援会や来賓出席者各位に感謝の意を表された。その中で勉学以外にクラブ活動で偉業を成し遂げたハンドボール部はじめ、陸上競技部、自動車部に学生会などの課外活動での頑張りも称えられた。同時に4年以上かかって卒業した学生たちへも、ご自分が5年かかって大学を卒業したことを引きあいに出されて、その努力を称えることも忘れなかった。

そして、大同工業大学が今年で開学65周年、大学創設40周年を迎え、今年の卒業生を入れるとすでに19,000人を世に輩出したこと、そして今後更なる発展を期して新たな展望を開きつつあることを強調された。

次いで、日本の将来について言及された。今まで経験したことのない不況を克服し日本経済が復活することが望まれる今、ものの考え方が世界規模で大きく変化しており、同時に紛争が続き、貧困も拡大している。日本は経済復興とともに世界で苦しんでいる人々を支援する活動を同時に進める必要がある。矛盾を抱えながらも強くたくましく生きてゆくべきだと諭された。

そういう中で日本の大黒柱は「ものづくり」であることに変わりはないこと、日本経済では大量生産からきめ細かくすばやく対応する企業が発展することを説かれ、卒業後は外国で仕事をするのも当たり前となり、また仕事も好きだ嫌いだと言っておられないし、大学で学んだ技術もすぐ役立たなくなる。従って一人一人が柔軟に対応し、常に自分を磨き、得意技を磨くこと、そして何より学生時代の友人を大切にすることを強調された。

最後に「人生の中で壁に突き当たったら必ず大学を思い出しなさい。大同工業大学は永遠に皆さんのふるさとです。いつでも門戸を開けておきます」とエールを送られ、卒業生がよい人生を送られるようにと祈念されて告辞を終えられた。



栄えある学長賞・三好賞に輝いた卒業生たち、 その功績を一挙公開!



学長賞

■学業、人物、健康共に優れ、他の学生の模範と認められ、学業奨励生を3年間（第2年次から第4年次）継続した者のうち、学科が推薦するもの

- 00M 加藤育美、栗田 直、守屋豊樹／●00E 高橋昌平、舟橋正規、
- 00C 今井慎吾、松永琴美／●00D 伊東享彦、品川沙織、都築誠志
- 00A 伊藤正登、高木 純

(写真①)

■課外活動において、特に優秀な成績をおさめたもの

- 00M 板垣貴幸、佐藤寛敏

ハンドボール部創部4年で東海学生リーグ初制覇、西日本インカレ準優勝ほか画期的な功績で受賞

(写真②)

■大学院学長賞／修士論文が特に優秀で、他の学生の模範と認められたもの

- 02MM 石川前衛 論文題目「LED光源と2次元PSDを用いたミラー傾斜角度計測装置の開発」。研究内容および論文審査会における発表態度は共に優れ、他の学生の模範となった功績で受賞。
- 02MM 大岩 豪 論文題目「固体高分子形燃料電池のセル水管理に関する研究」。研究内容および論文審査会における発表態度は共に優れ、他の学生の模範となった功績で受賞。★同時に、自動車協会の大学院奨励賞も受賞。
- 02EM 飯田 陽 論文題目「不要電磁波抑制電子回路基板の試作に関する研究」。EMC対策のための電磁波を抑制する電子回路基板を作製し、その特性を明らかにして、工學上有用な結果を示した功績で受賞。
- 02EM 加藤則郎 論文題目「炭素クラスターの水素化反応によるダイヤモンド成長」。グラファイト基板上からのダイヤモンドの成長様式を明らかにした。又発表会において、明快なプレゼンテーションを行い、他の学生の模範となった功績で受賞。
- 02BM 名木野晴暢 論文題目「スプライン離散化法の開発と直交異方性厚板の3次元応力および振動解析に関する研究」。修士論文の研究内容は際立って高レベルであり、発表内容も分かり易く説明する等工夫を凝らして、他の大学院生の模範となった功績で受賞。
- 02BM 野田泰宏 論文題目「都市空間における樹木の日射遮蔽が人体に及ぼす熱的影響」。修士論文の研究内容としては際立って高レベルであり、発表態度も優れ、他の大学院生の模範となった功績で受賞。

(写真③)

三好賞

(写真④)

- 00M 石川善裕 半田市立博物館の「からくり人形研究員」として、からくり人形の復元にボランティア活動で貢献。またからくり人形の調査・研究を、2003年8月半田市立博物館年報13ページにまとめて発表。学業成績も優秀で、大学院へも進学することから受賞。
- 00M 大森弘之 2年次に強化指定クラブ・陸上競技部が創設された時から主将として部をまとめあげ、創部2年目から主力選手として連続して名岐駅伝に出場するなど活躍。学業成績も優秀で他の学生の模範となった功績で受賞。
- 00E 矢野周太 成績優秀で、卒業研究に意欲的に取り組み、研究室で指導的な役割を果たした功績で受賞。
- 00C 後藤大輔 夜間主コースから昼間主コースに転じ、他の学生の模範となり、研究室の活性化に貢献した功績で受賞。
- 00A 牧野善仁 建築設計コンクールに応募して銅賞を受賞。更にクラスのまとめ役としても重要な役割を担った功績により受賞。
- 00D 山本幸太郎 学業成績、人物ともに優れ、卒業研究では外部（JFCC）で行い、高い評価を得た。名古屋工業大学大学院に推薦で合格した功績により受賞。



卒業パーティにぎやかに!



②課外活動の学長賞受賞者



③大学院学長賞受賞者



④三好賞受賞者

元気の卒業生④



アイシン辰栄株式会社
技術センター生産技術1グループ
清水 保充 氏
2002年3月工学部機械工学科卒業

入社2年目で愛知県知事賞受賞！ そんなに頑張った わけでもないのですが…

「夢とか希望とか、特に持っていなかったです。」

大同工大へは特に目的をもって入学したわけではなかった。ただ物理が好きだったから大学は工科系を選んだ。大学時代も特に頑張ったわけでもなかった。クラブもやらなかった。将来何になりたいということもなかった。卒研は糸見先生。就職は苦労の末に、自分でもビックリ、アイシン辰栄(株)に内定。「大学時代は遊んだから、仕事頑張ってみるか」というのが卒業時の感想。

「自分の考えをかたちにできる仕事です」

アイシン辰栄(株)の主業務は、塗装とプレス加工の二部門。碧南市の衣浦工場、塗装部門の生産技術の1グループに配属された。塗装の現場ではなく、塗装の生産ライン・プロセスを構築するセクションで生産プロセスを自分で設計する仕事。忙しかったが面白かった。

「何となく応募したら知事賞!」

入社2年目・昨年の秋、第38回愛知県塗装技能作品展に応募することになった。応募作品は全然力まず、業務の間に簡単に完成した。社内での評判は芳しくなかったが、審査の結果は、最高賞の中部産業大臣賞につく愛知県知事賞。あいにく業務のため授賞式には出席できなかった。

「『何となく』『特になし』を少しずつ直していきたい」

根はオプティミスト(楽観主義者)。今1人で衣浦工場を担当していて、期待されもすればプレッシャーもきつい。自分の口癖である「何となく」とか「特になし」を直して、細かいところまで気を使える人間になりたいという。有機溶剤取扱作業主任者の資格取得にも挑戦中。

「楽しい会社に入って欲しい。自分のやりがいのある仕事について大いにアピールして欲しい」と後輩にエールを送るのを忘れなかった。



教職員・学生・院生・参加による 「国際親善ボーリング大会」開催!

恐らく初めてではないかと思われるイベントが行われた。DITに外国からきたポスト・ドクターと教職員、学生、院生を交え、「DIT国際ボーリング大会」と銘打ったボーリング大会が開催された。

参加したのは、バングラディッシュのポスト・ドクター、イスラム・モハメド・ナズルール君と、台湾のユウ・ジンロン君。韓国の客員研究員、ユ・ミヨンさんは都合で欠席した。堀先生、井上先生、光田先生の3人の先生に、男女職員6人、学生・院生18人、合計27名が、ボーリングを2ゲーム楽しんだ。その後は懇親会と表彰式を行い賑やかに交歓した。外国からの二人はスコアこそ伸びなかったが、異国での束の間の交流を満喫していた。



ひそかな グルメスポット④

DITの近くの学生向けグルメを紹介します

安いものを家庭的な雰囲気でおいしく!

活魚料理 日本料理 **おゝみ**



名鉄大同町駅から東へ50メートル。いかにも魚を食べさせてくれそうな店構え。店の入口の左側には、信楽焼きのたぬきが鎮座。

店は広い。入口からすぐのカウンターに活けすがあって鰯やカワハギが泳いでいる。カウンター席を抜けて店の奥へ入るとテーブル席と座敷となっている。2階は宴会用の座敷があるとか。

昼のメニューを見るとみんな安い。人気は日替わり定食500円。この日は鉄火丼。

食後に店のママにインタビュー。聞けば琵琶湖の北岸、桜の名所・海津大崎の出身。だから店の名前が「おゝみ」というわけだ。ご主人とは「ふつうの結婚(?)」をして、今から33年前にここに店を出した。現在店はママ夫婦と長男夫婦、そして次男さんの5人で切り盛り。「家族的雰囲気でお客さんに食べてもらう」のがモットー。あの安いメニューも、お客さんに安くておいしいものを食べてもらって喜んでもらいたい一心から値段を決めた。大きな串カツ3本で250円はちょっと他にはない。今日の日替わり定食、鉄火丼も、大盛りになっても値段は500円のまま。他のメニューでもご飯のお代わりは自由で追加料金は一切取らない。

「大同工業大学、大同工業大学大同高校の生徒さん、先生方、職員のみなさんがよく来られます。」といわれ、店の奥を除くと、DITの先生方や職員、高校の生徒・職員、そして今年学長賞を受賞して卒業したハンドボール部の佐藤君までもいた。

最後に親子2代、それぞれツーショット写真をお願いしたら、気安くOKをくれた。



初代夫婦



2代目夫婦と3男さん



日替わり定食 鉄火丼 500円

大同工大の特別後援でディズニー映画「ブラザー・ベア」試写会、盛大に開催!

情報学部 横山弥生助教授、「ブラザー・ベア、イラストコンテスト」審査委員長を担当

3月6日土曜日、鶴舞の愛知県勤労会館で、大同工大が特別後援したディズニー映画「ブラザー・ベア」試写会が2,200人を招待して盛大に行われた。この映画は、ディズニーが「ライオンキング」に続く動物アニメ映画として制作。熊にされた人間を通じて人と動物との心の触れ合いを描く感動のドラマ。

この試写会に併せて「ブラザー・ベア、イラストコンテスト」が開催され、情報学部の横山弥生助教授が、審査委員長を務められた。

写真は、試写会前のイラストコンテスト入賞者発表会で、司会のつばイノリオ氏と入賞作品の総評をされる横山先生



トコト先生！ 大活躍！

澤岡学長を中日新聞が取材。 大同工大の教育改革と将来展望を語られる

(15) 大学 2004年(平成16年)4月6日(土曜日)

「学生之新聞」という2ページ記事の中の、「改革への道」と題して各大学の学長にそれぞれの大学の展望を語ってもらうシリーズの「大同工大編」。

学長は、2001年授業憲章採択に始まる大同工大の教育改革の先進性と他大学に勝るその実績、そして今後の大学発展への展望を語られた。この記事は4月6日の中日新聞朝刊に掲載されたから、まだ記憶に新しい。

大同工業大 沢岡 昭学長

改革の道のり

学長としての道を歩む中で、最も大変だったことは、1999年に就任してからの教育改革。学生、教員、社会との関係、そして、大学としての存在意義を問い直すことが、最も大変だった。しかし、この改革は、大学の未来を切り拓くための道であり、決して容易な道ではなかった。それでも、この改革は、大学の未来を切り拓くための道であり、決して容易な道ではなかった。

学生の授業評価生かす

「学生之新聞」に掲載された記事によると、学長は、学生の授業評価を、大学の改革の重要な指標として活用している。これは、大学の改革の重要な指標として活用している。これは、大学の改革の重要な指標として活用している。

（以下、記事の抜粋）

「学生之新聞」に掲載された記事によると、学長は、学生の授業評価を、大学の改革の重要な指標として活用している。これは、大学の改革の重要な指標として活用している。これは、大学の改革の重要な指標として活用している。



学長の「月刊なごや」連載が40回に到達！ 「学長の宇宙夢ものがたり」シリーズで、 地元とのパイプを拡大

「帰ってきたぞ！日本の新型人工衛星」、「宇宙旅行のお値段」、「中国人宇宙飛行士誕生おめでとう」…これらは、学長が名古屋のミニコミ誌「月刊なごや」誌上で、普通なら入手することのできない宇宙開発関係の情報を、「学長の宇宙夢ものがたり」と題して毎月連載しているタイトルの一部。

学長の連載が、2004年4月号でシリーズ40回を迎えた。連載をはじめて3年と4ヶ月。最新号のテーマは「大学教授になる向井千秋さん」。スペースシャトルで既に2回も宇宙飛行を経験している日本人女性宇宙飛行士第1号の向井千秋さんが、フランス・シュトゥラスプールの国際宇宙大学で宇宙医学の教鞭をとるという話題。学長によれば、この連載が数を重ねる毎に地域の関係者から声掛けが出てきて、地域とのパイプが深くなったと実感されるそうだ。学長の宇宙関係の情報は決して途絶えることはないし、今後も興味深い連載を続けていただけそうだ。



昨年9月に、矢作建設はじめ、企業とDITが立ち上げた「土壌・地下水汚染対策研究会」の会長に就任された大東先生に、中日新聞や建都新聞などから矢継ぎ早に取材の申し込みがあり、先生の取材記事が新聞紙面を飾った。また大東先生や業界、行政の人々との座談会がそのまま業界紙に掲載されるなど、先生が会長を務めるこの研究会が各方面から注目されていることも示している。先生の活躍が期待される。



人のほど高価な低いハンドボールだが、東海市では相変わらず盛んだ。地元企業の企業と体育協賛で、最近では年約、多くの近い市体育館で、小学生、中学生、や社員の人も、東海市、

地元企業の指

3市一町から集まる。夜など長時間、基礎を圧迫プレートを置く。指導は大同特殊鋼ハンドボール工業大の学生10数人、は小学生高学年が男女とも優勝、知多半島では中学校の優勝が白立った。

小森 文一 06-622-3466

第9回 UMK 青少年スポーツフェスタ



教養部
佐藤 壮一郎 講師、
各地のハンドボール講習会に
ひっぱりだこ!

ハンドボールの盛んな東海市の東海ハンドボールスクールでは、先生とDIT大ハンドボール部員達が、小学生から中学、高校生・社会人までを熱心に指導、また指導者講習会でも講師を担当された。福井県松岡町では、高校男子を対象としたハンドボール講習会で60名の高校生の前で先生が実技と熱弁を振るった。また遠く宮崎県の第9回UMK(テレビ宮崎)青少年フェスタのハンドボール会場、延岡市民体育館では、2日間にわたって触れ合いスポーツ教室と交歓競技会で、コーチと試合の審判を務められた。

トコトン先生！ 大活躍！

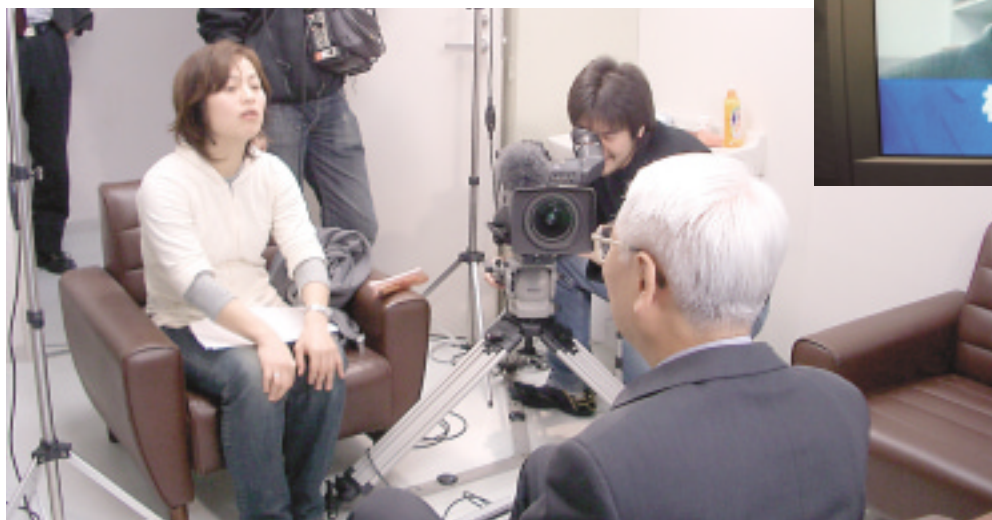
建築学科 瀬尾文彰 教授、 新聞紙上で名古屋のまちづくり提言

「名古屋の水路をよみがえらせ、住友運河にヨットハーバーを」、「熱田神宮の参道を復興して若者が集まる名古屋の表参道に」など、NPO法人「まちづくり支援教会」リング理事長の瀬尾先生が名古屋のまちづくりについて積極的に提言されている。これらの提言を各新聞社が報道している。



機械工学科 松居 正夫 教授、 東海テレビ「ぴーかんテレビ元気がいいね」に出演！ 暮らしのなかでアルミホイルの隠れた使い方を伝授

「アルミホイルを日々の暮らしの中で上手に使う方法はないか？」 この暮らしの知恵に答えられる先生を求めて、東海テレビの朝のワイド番組「ぴーかんテレビ元気がいいね」からDITに取材の申し込みがあった。そこで登場されたのが松居先生。アルミホイルの隠れた驚きの使い方を伝授。レポーターも感心しきり、貴重な提案となった。3月31日午前10時過ぎからCMをはさんで、約20分間にわたって東海3県で放送された。



名古屋市南区・港区を 万博終了後「万博タウン」に。 大同工大の役割を含め、 中日新聞が第1面のトップで報道!

3月26日、中日新聞朝刊第1面のトップ記事に、大同工大が掲載された。万博終了後に、名古屋市南区と港区に万博の施設の一部を移設して「万博タウン」を作ろうという計画があり、その中で大同工大と関係企業・行政の果たす役割が紹介された。



都市環境デザイン学科
舟渡 悦夫 教授

この記事の背景には、大同工大から8人の先生方が参加されている「名古屋臨海東部都市再生検討懇談会」という研究組織があって、その中で南区の加福地区や港区の昭和地区の工場地帯と、大江、大同町、柴田地区の住宅地域の再生について検討されてきた経緯がある。大同工大からは、舟渡、笠嶋、大東、事口、堀内、光田、嶋田、渡邊（慎）の各先生方が参加されていて、「万博タウン」についても同懇談会で検討されていた構想のひとつ。掲載された日が愛知万博の開催1年前にあたることから、中日新聞が大きく報道したというわけ。

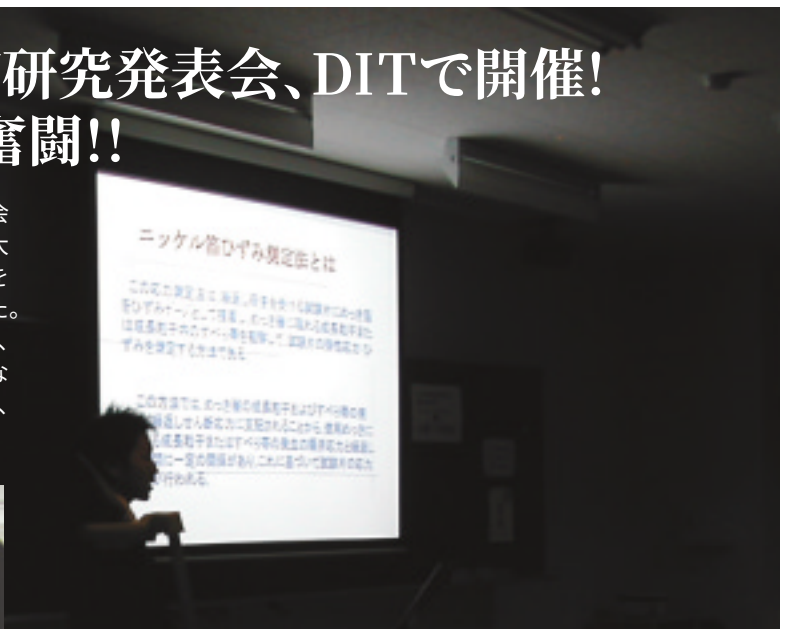
記事は、万博の「環境」という理念を生かし、万博施設の移築による街づくりが可能となること、そして大同工大が地理の上でも「万博タウン」が構想されている地域に位置することから、その役割が期待される旨の内容。万博を開催しても、開催期間は半年。終了後の施設の利用が大きな課題となっている今、もしこの構想が成功すれば、世界的にも有効な先例を築くことが出来るわけで、各方面から大きな注目を集めることになる。



日本機械学会東海支部研究発表会、DITで開催! 先生方と大学院生、大奮闘!!

3月16日から18日まで3日間、本学で日本機械学会東海支部の発表会が開催された。この発表会では、大学院生や先生方が日頃の研究成果を発表。学会運営を含め大きな発表会を盛況のうちに終えることができた。

大学院生は、1ヶ月前に発表した修士論文を中心に、先生方は教育で忙しい合間をぬって研究された貴重な成果をそれぞれ発表。研究成果の発表、発表会運営で、DITが大いに貢献した研究発表会となった。



平成16年度入学式挙行!

学部生870名、大学院生41名、委託生1名がDITの門をくぐる

4月5日、抜けるような青空の下、大同工業大学の平成16年度入学が式挙行され、新入生が希望あふれる新生活のスタートを切った。



学長告辞(概略)

澤岡学長はまず、入学した学生、院生、委託生の新たな門出を祝い、併せてこれまで学生を育てられたご父母や関係者の方々のご苦勞に敬意を表された。

そして大同工業大学の沿革、工科系単科大学から総合大学への第一歩を踏み出した現状と将来展望を語られた。学祖・福澤桃介が没した年に自分が生れた「縁」も加えられた。

続いて本学が教育重視の大学であること、卒業が難しいという人がいることを紹介された後、勉強だけでなくクラブ活動や大学祭、秋のレガッタ大会などに積極的に参加し、エキサイティングな学生生活を送るようにと呼びかけられた。そのために、「眠っている自分のDNAを呼び覚まして、自分の得意とするもの、好きなものを大同工業大学でぜひ見つけなさい。決して容易なことではないが、まず考え思うことを存分やる、一生懸命やっていると人生は思わぬ方へ展開する、だから自分の可能性に賭けてみなさい」と諭された。

最後に、学部の4年間、大学院での2年間を有意義に過ごすことを願い、心からの歓迎を述べて告辞を終えられた。

入学式後はクラブ勧誘、午後は自己分析アンケートと実力テスト。

入学式直後は、各クラブによる趣向をこらしたクラブ紹介と勧誘活動。この時ばかりは大学生になったことが強く実感できる。

その日の午後は、さっそくDIT恒例、「実力テスト」と就職指導部の「自己分析アンケート」。実力テストでは一人一人の学力を把握し、

自己分析アンケートでは将来への展望について把握して、これからの学生指導の貴重な資料となる。成績には関係しないが、DITの学生指導の出発点となる。

全パソコンとソフトを総リニューアルし511台に増設! 新しいパソコンで、早速「履修登録」スタート

情報教育センターでは、センターのパソコンとソフトを全て新型に入れ替え、合計511台に増設した。そしてこのたび新たに完成した教務システムを使って平成16年度の授業科目の履修登録がWebによって行われた。

PCの総入れ替えは、3月に行われ、台数も増設。それにとともにOSやソフトも一新された。また学生の履修登録は、教務システム開発プロジェクトの職員と大学院生がサポート、全員の登録を終えた。登録時に行われたアンケートによれば、全学生の70%が「満足」と答え、まずは上々のスタートが切られた。

新しいPC環境・Web環境で事務業務の簡素化と教育の充実が期待される。



みなさん个性的! 新任の先生方を一挙ご紹介!



情報学部情報学科 電子情報・ソフト設計コース

教授 田中 秀和

川崎重工業(株)から教育畑へ転身、DITは4校目。常々、日本の大学教育の不十分さに危機感をもっていたが、本学の「教育重視」のポリシーに共感してDITへ。

難しい技術士の資格をもち、コンピュータビジョンで学位を取られ、論文執筆、学会役員など、文字通り多忙を極めた。そのおかげなのか、「無芸大食です」と笑う。趣味といえば昔クラシックが好きだったが、今は聞く時間がないとか。お見受けしたところ、柔道、剣道などの武術が得意そうな体つきだが、「13年間高校の柔道部顧問はしましたけど柔道はできません」とのこと。

とにかく仕事と勉強一筋の田中先生。「子供が独立して家庭環境も変わった」とか。仕事もご家庭も新しい一歩を踏み出された。情報概論、情報処理基礎などを担当される。



教養部 保健体育教室

助教授 齊藤 慎太郎

とにかく背が高い。高校へ入るときに182センチあった。中学までは野球をやっていたが、高校の先生から「ハンドボールなら全国大会へ行けるし、大学へもいける」と誘われ、ハンドボールを始めた。そのとおり高校では全国大会に出場、大学は日体大へ進学し全日本チームの選手に。

バルセロナオリンピック予選では韓国の壁が破れなかったが、教員になる夢を追って母校の大学院へ入学、体育学の修士号を取得した。その後日体大の女子ハンドボールコーチを務めたあとDITへ。ハンドボール部のコーチとして、同じ日体大出身の佐藤壮一郎先生(教養部・ハンドボール部監督)と二人三脚でハンドボール部を更に強くしていただけそうだ。健康科学演習などを担当される。



情報学部情報学科 メディアコミュニケーションコース

講師 岩木 卓巳

これまでの肩書きは映像作家。朝のテレビワイド番組のコーナーでの取材・出演、毎週月曜日の中日新聞朝刊コラムの連載はじめ、放送、新聞、雑誌などのマスコミで大活躍。当然関係者との人脈も広い。「虫」をテーマにした映像作品「虫の音」で、マルチメディアグランプリGIFU96でグランプリ受賞。因みに奥様は、プロのスチールカメラウーマン。

これからは大同工業大学講師の肩書きが加わる。「学生たちと映像作品をいっぱい作っていろんなコンテストに応募して入賞を果たし、DITの名声を高めたい」と意欲十分。「私は早く動かないと気がすまない性格」だとか。確かに映像作家はすばやい動きの広報マンでもあった。先生の大同工大講師就任が、早速朝日新聞にも掲載された。メディアアート、映像論などを担当される。

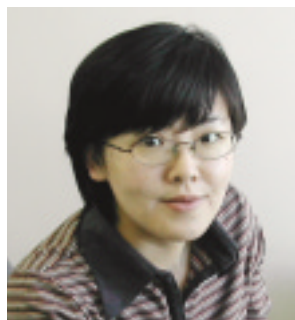


教養部 数学教室

講師 二村 俊英

「数学しか勉強しませんでした」というほど数学好き。「数学はわかったら楽しい」そうだ。数学で博士号を取得してDITへ。名古屋に住むのは初めて。「学生時代に味噌カツを食べる旅で来たことはあります」とか。趣味は「模様替え」。テレビはあまり見ないが、見るのは1回で済む2時間ドラマだけ。連続ドラマは毎週見るのが面倒で見ないそうだ。

小学校、中学校時代は相撲とバスケの選手。6年生で172センチあったが、中学へ行って背が伸びず相撲を止め、あとは勉強一筋。「理論数学以外に、応用数学もやってみたい」というのが今後の抱負のひとつ。線形代数、微分積分などを担当される。



教養部 教職教室

講師 松岡 陽子

キリッとした目鼻立ちに知性が溢れる。ところが空手初段。「友人からは男らしいといわれ、男の“ふつ”の友達が多い」そうだ。出身は岡山、大学は早稲田。名古屋に住むのは初めて。道の広さにビックリした。中学3年のときハモンドオルガンの全国大会が名古屋で開かれ見事準優勝。だから名古屋には縁があったかも。「味噌カツの味噌をキャベツにつけて食べるのおいしい」と微笑む。

専門は発達心理学。「昔から人間に興味がありました。心理学は人間を多面的に見られるところに魅力がある」とのこと。「授業では双方向コミュニケーションを追求し、それも教員の立場ではなく学生の視点で展開したい」と抱負を語る。教育心理学などを担当される。

平成16年度 第1回 企業説明会、盛大に開催!

名古屋、岐阜、津、浜松4地区で、企業述べ313社、学生698名参加



DITの就職活動のスタートとなる企業説明会が、2月25日名古屋国際会議場を皮切りに、合計4カ所で始まった。名古屋での企業説明会は、一大学としては全国でも屈指の規模となり、今年も日刊工業新聞で紹介された。

新年度は、平成15年度第3四半期のGDPが予想以上の好成績で、また株価が持ち直していることなどを背景に、企業の求人が増えることが期待される。もちろんことはそう簡単ではないにしても、DITにとっては、大掛かりな教育改革を実施して鍛えられた学生たちが初めて就職活動に臨む年でもあり、充実した就職実績を残すことが期待できる状況が生れているのは確かである。とにかく就職を希望する学生諸君の奮闘がカギを握っていることに変わりはない。

企業説明会に参加いただいた企業は合計313社(昨年294社)。採用担当者の方々が語られた学生の印象について主なものは、「大同工大の学生は礼儀正しくて気持ちがよい」、「話を聞く態度が非常によく、熱心である」、「積極性が伺える学生が多い」だった。ただそれ以外に「堅実だが少し小さくまとまりすぎている」、「こちらの想像を越えた型破りな学生がいてもいい」という声も少なからずあった。

就職試験本番を迎えている今、就職活動中の学生たちは、これら企業説明会に参加された企業の採用担当者の声を大いに生かしたい。

本年度から2年生対象の「キャリア発見シート」を作成

大学生活1年が終わり2年生になった学生対象に、今後どんな学生生活を送るべきか、自分の進路をどうするかを考えてもらうために、就職指導室が「キャリア発見シート」を実施した。

学生が自分の価値を高め、社会で働く力を自分自身で発見・開発するのが「キャリア発見」と位置付け、就職活動時に提出する「履歴書」に準拠して設計されているので、2年生にとっては自分自身を評価する訓練にもなる。

The form is titled 'キャリア発見シート' and is designed for students to reflect on their university life and plan their future careers. It includes sections for '自己分析' (Self-analysis), '進路選択' (Career selection), and '就職活動の準備' (Preparation for job application). There are checkboxes for various activities and a section for '就職活動の準備' with a checklist of items to prepare.

創造製作センター、ものづくり教室で賑わう! 外部のものづくり講座、続々開催

第4回特殊鋼販売加工実務講習

普段は特殊鋼販売を担当している各社の営業マンたちが、鋼材加工実習に取り組み、旋盤などの機械操作に奮闘した。

2月16日、(社)全日本特殊鋼流通協会名古屋支部主催で、加盟各社から営業マン16名が、創造製作センターで鋼材加工技術講習会に参加した。業界でもトップクラスに位置付けられる機械設備を目の当たりにして、16名を引率してきた同協会湯野沢理事と名古屋市部の垣内事務局長は、「いい設備ですね。今までバスを仕立てて大阪まで行って開催していましたが、これからは大阪まで行かずに済みます。大同工大さんでお願いしたいですね」と、次回開催に想いを馳せていた。



名古屋市南区魅力体験講座 「銅版をたたいて作る」

シルバーの人たちが、一生懸命銅版をたたいて思い思いの銅版アートづくりを楽しんだ。

2月24日、南区主催の「銅版をたたいて作る」という高齢者対象の講座が、創造製作センターで開催され、27名のシルバーの人々が、四角と円形の銅版にいろいろの絵や文字を描いた。創造製作センター長の松浦章裕先生と技術員の皆さんが懇切・丁寧に指導。参加者27名は、創造製作センターの設備と指導振り、そして自分達の銅版の出来栄に満足していた。

情報教育センターで、 市立富田高校生21名が本学で ホームページづくり!

3時間の体験学習で制作、CD-Rに収録

ホームページづくりに挑戦したのは、富田高校2年生。本学滝春校舍から気に入った素材・風景をデジタルカメラで思い思いに撮影し、それを貼り付けて、「大同工大で発見したもの」というタイトルのホームページに仕上げた。

制作したホームページの発表会で生徒たちは、「大同工大はキャンパスが美しい」、「大同工大の人はみんな親切」という感想を発表していた。



ハンドボール部で活躍した2選手 全日本ハンドボール連盟から 優秀選手賞受賞!

大同工大ハンドボール部で創部から活躍した二人の選手、00M板垣貴幸選手と澤田英二選手に、全日本ハンドボール連盟から「優秀選手賞」が贈られた。

二人は大同工大ハンドボール部の主力選手として活躍、昨年夏の西日本学生ハンドボール選手権大会で、DITを準優勝に導いた活躍で優秀選手賞に輝いたことが評価された。



左：板垣選手 右：澤田選手



情報学部情報学科 井上 茂樹 教授 14階ラウンジに 「地上波デジタルテレビ」設置!

このほど14階ラウンジに地上波デジタルテレビがお目見えして、ランチを楽しむ教職員、学生たちの清涼剤となっている。

といっても、娯楽用に設置したのではない。井上先生の研究室で展開している地上波デジタルテレビ放送の電波伝送特性のコンピュータシミュレーション研究を進展させるために、日立から研究設備として提供を受けているもの。地上波デジタル放送が受信できる42インチのプラズマハイビジョンテレビで、ラウンジの南側に設置されている。

人事

退職/H16.3.31付

教育職員

今井 英夫/教養部 数学教室 教授
服部 洋児/教養部 保健体育教室 助教授
小川 一美/教養部 教職教室 講師

特任職員

信耕 四郎/大学事務部 就職指導室長(部長待遇)

嘱託職員

木下 進/大学事務部 就職指導室
吉川 雅子/大学事務部 社会交流エクステンションセンター

臨時補助員

青木 正行/教養部 物理学教室

採用/H16.4.1付

教育職員

田中 秀和/情報学部 情報学科 教授
齊藤慎太郎/教養部 保健体育教室 助教授

二村 俊英/教養部 数学教室 講師
松岡 陽子/教養部 教職教室 講師
岩木呂卓巳/情報学部 情報学科 講師
近藤 芳孝/電気電気工学科 特任教員
今井 英夫/数学教室 特任教員

事務職員

林 昇/法人本部 通信・情報システム室主任部員
兼 大学事務部 情報教育センター事務室主任部員(課長待遇)
信濃 和彦/大学事務部 教務室(書記待遇)

嘱託職員

稲田 良行/大学事務部 学務室白水事務室
原田 昌明/情報学部 情報学科

臨時補助職員

木下 進/教養部 物理学教室

昇任/H16.4.1付

教育職員

服部 文彦/教養部 人文社会教室 教授
石田 敏彦/工学部 情報機械システム工学科 助教授
渡邊 慎一/工学部 建築学科 助教授
嶋田 喜昭/工学部 都市環境デザイン学科 助教授
棚橋 秀行/工学部 都市環境デザイン学科 助教授
今井 健二/教養部 物理学教室 助教授

昇格及び異動/H16.4.1付

事務職員

今井 建一/経営企画本部長 兼 大学事務部主席部員(部長待遇)
大脇 通保/大学事務部 就職指導室長(部長待遇)
神谷登司雄/大学事務部 学生室長(次長待遇)
光永 猛/大学事務部 図書館事務室長(次長待遇)
松尾 恵子/大学事務部 社会交流エクステンションセンター事務室(主査待遇)
大脇 崇浩/大学事務部 学務室(主査待遇)
上田 賢幸/大学事務部 入試室(主査待遇)

嘱託職員

水野 裕子/大学事務部 学務室
西中川 保/産学連携共同研究センター
西山 幸男/情報学部 情報学科 兼 法人本部総務部 人事室

称号授与

名誉教授

今井 英夫/H16.4.1

役職就任

太田 幸一/学長付(任期:H16.4.1~H17.3.31)

客員教授(任期:H16.4.1~H17.3.31) H16.4.1付
市野 博重/太田 幸一/草加 勝司/藤原 俊隆

客員研究員(任期:H16.4.1~H16.8.31) H16.4.1
兪 美善

大学院客員教授(任期:H16.4.1~H21.3.31) H16.4.1
飯田 康夫/五十川 幸宏/入山 恭彦/岡部 道生
高橋 誠治/務川 進

編集後記

- 1) 新たに学部生870名、大学院生41名の新入生を迎え、大同工業大学の平成16年度がスタートしました。新入学の皆さんを心から歓迎します。そしてご父母の皆様はじめ、関係者の皆様のごこれまでのご努力に敬意を表します。
- 2) 大同工業大学は今年で学園開設65周年、大学創設40周年を迎えました。この節目の年を更なる発展のスタートにしたいと考えております。
- 3) 今号にも紹介しましたとおり、学生や先生方の活躍がマスコミにも多く取り上げられるようになりました。そのため本号は、従来の16ページから20ページへと増ページしました。
- 4) 大同工大の活躍や新たな胎動が名古屋から広がっていくことは、とりもなおさず大学のレベルアップに繋がり、ひいては「社会になくはならない大同工業大学」へと発展していくことになります。
- 5) 大同工大キャンパス編集部では、情報発掘に精力的に取り組んでいます。そのために、学生の皆さん、先生方、卒業生、そしてご父母の皆様からいい情報を募集しております。情報をお寄せいただいた方々は、大同工大キャンパス特派員として登録させていただき、写真のような大同工大のマスコット、発芽をイメージした「ディットちゃん」をあしらった「特派員バッジ」を差し上げます。
- 6) 皆さんでこの大同工大キャンパスを大いに盛り上げてくださいますようお願いいたします。

